



「学び続ける教員へのメッセージ」講演会開催のお知らせ

教職キャリア高度化センターでは、今年度も「学び続ける教員へのメッセージ」として、2024年3月9日（土）に講演会を開催します。

2021年1月の中教審答申では、「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICTの活用に関する基本的な考え方が示され、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びを実現するためには、ICTは必要不可欠としています。また、これまでの実践とICTとを最適に組み合わせることで、様々な課題を解決し、教育の質の向上につなげていくことが必要とされています。

今回の講演会では、東北大学大学院情報科学研究科教授、クロスアポイントメントにより東京学芸大学大学院教育学研究科教授堀田龍也氏が、GIGAスクール構想で整備された1人1台端末の環境を有効に活用し、子供たちが学習経験を重ねて、情報活用能力と新しい学び方を身に付けることによって各教科等での学びを深めていくために、これからのICT活用の考え方を、本学副学長浅井和行氏との対談を交えてご講演いただきます。

皆様の多数ご参加をお待ちしております。なお、参加申し込み詳細については、本学ホームページやチラシにてお知らせしております。

日時：2024年3月9日（土） 14:00～16:30
会場：京都教育大学藤森キャンパス 共通講義棟大講義室2

テーマ：これからの教育（令和の日本型学校教育）と
教師に求められる資質・能力
『これからのICT活用の考え方』



お申し込みは、こちらの
2次元バーコードから

「学び続ける教員へのメッセージ」シンポジウム開催の報告

10月28日（土）、「学び続ける教員へのメッセージ」シンポジウムを開催しました。

今回はシンポジウムのテーマを『これからの教育（令和の日本型学校教育）と教師に求められる資質・能力 GIGAスクール構想で授業はどう変わるか～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の基盤～』とし、大久保紀一郎氏（京都教育大学）、瀧本徹氏（京都府教育庁）、岡本宇隼氏（京都府立鳥羽高等学校）、前田穰氏・岩本信吾氏（2名とも京都市総合教育センター）の計5名のシンポジストからメディア教育からの知見や現在の教育現場での状況など、多角的な視点から話題提供をいただき、ICT教育を考えることができる場となりました。

参加者からは、「個別最適かつ協働的な学びについての理解が深まる機会となりました。自分自身も実践を重ねながら、授業改革に取り組んでいきたいと思えます。」「京都府と京都市のICT教育の現状がよくわかった。また、意見交流ではICT教育の課題も提起されており、大変良かった。」等の声があり、大変好評でした。



各事業の報告

ICT 講習

一昨年度・昨年度に引き続き、今年度も「使ってみようICT！」講習会を学生向きに、7月から12月にかけて計6回開催し、延べ60名が参加しました。

6回のうち2回は、教科書の出版社から講師を招き、“デジタル教科書”の機能や特徴や実践事例などの講義の後、操作を実体験しました。またうち1回は、“ロイロノート・スクール”の基本的操作を中心に学ぶ基礎編を本学大学院生の協力を得て学び、うち3回は、昨年度得られた学生の学校現場での実践例を学びたいというニーズを踏まえて、京都府・京都市の中学校・小学校の現職教員、および現職経験のある本学教員を講師に招き、“Microsoft Forms”、“カフート”、“ロイロノート・スクール”、“クラウドツール”の利活用について、学校現場での実践について学びました。

受講者のアンケートには、「ICT教材の使い方を知ることができ、授業作りの幅が広がった。」「非常に実践的な講習会であり、ICTを活用する意欲が湧いた。」「とても重要なことを学べて満足した。」などの声が寄せられ好評でした。

この講習会は、教職キャリア高度化センター教員の学内プロジェクトとして実施したものです。

学校経営関係講座・特別支援教育講座について

【学校経営関係講座】

本センターでは、令和5年度に本学主催の学校経営講座を3回（11月24日、12月25日、12月26日）開催しました。いずれも竺沙知章教授（本学連合教職実践研究科）に講師を務めていただいたほか、12月25日には風岡治教授（愛知教育大学）、12月26日には中川勘太弁護士に講師を務めていただき、学校を運営していく上で重要となる「カリキュラムマネジメントと学校財務」や「学校経営と教育法規」について講義の上、グループセッションを行いました。

学校教員の方々のみならず学校事務職員の方々にも研修にご参加いただけたことから、グループセッションではそれぞれ異なる立場での学校運営に関する意見交流等も活発に行われており、活気あふれる研修となりました。

3回の研修で計150名ほどの方に受講いただき、アンケートでは「教諭である自分にとっても大変分かりやすく、これからは財務のこともしっかり知っておきたい！」と意欲が高まりました。「管理職や先生方と学校の課題解決のプランニングを立てる作業はとても楽しく学びのある機会になりました。」「現場に役立つ内容であり、更なる学習の必要性を感じました。」などの記載があり、好評を博しました。



【特別支援教育講座】

9月29日にキャンパスプラザ京都にて特別支援教育・京都教育大学サテライト「明日から役立つ！発達障害のある児童生徒の理解と支援」講座が行われ、佐藤美幸准教授と小谷裕実教授にご講演いただきました。佐藤准教授からは子どもの発達と具体的な支援について講演いただき、小谷教授からは、医療の観点からの発達障害へのアプローチ方法について講演いただきました。

本講座には約130名の京都府立学校教員が参加し、アンケートでは「知識的な側面と実践的な側面の両面を学ぶことができ、大変充実した研修でした。すべての教員の明日からの実践に生かせる内容だと思います。」「今後につながる内容で、受講しながら生徒の顔を思い浮かべていました。ありがとうございました。」「興味深く聞かせていただきました。医療連携は自分の1つのテーマなのでこれからも情報を取り入れていきたいです。」などの記載があり、好評を博しました。

スポーツ指導者養成事業

2023年度の体育・スポーツ指導力養成プログラムは、前年度までのコロナ禍で余儀なくされたプログラム変更期間を終え、特色である子どもたちとの関わりの中での学ぶ全プログラムが再開しました。

前期授業科目である『スポーツクラブ指導入門』では、35人の学生が集い、運動指導に関する基礎事項や子どもたちとの関わり方を学んだ後、4つの運動教室に分かれて子どもたちと実際に関わりながら学ぶ実習を行いました。1回生が中心であることから、子どもたちに初めて「先生」や「コーチ」などと呼ばれながら、教えることの難しさを感じつつも、子どもたちができるようになる瞬間に立ち会い、学生生活での学びをどのようにしていこうかという動機付けになっている様子が多く見られました。

そして、年間を通じて行う指導実習に参加する学生たちも1・2回生が中心であり、このプログラムの中で子どもたちと関わった経験を、教育実習などの次のステージで活かしてくれることを期待しています。

本プログラムの活動はセンターHPにも公開していますので、是非ご覧ください。

教師を目指す高校生応援セミナーについて

10月29日（日）午後、京都府北部地域における教師の魅力発信や教員人材の確保に向けた取組として、標記セミナーが京都府総合教育センター北部研修所で開催されました。

中丹地域にある高等学校から高校生35名が参加し、本学からも北部地域出身の大学生から11名（4回生2名、3回生4名、2回生3名、1回生2名）が参加しました。中丹教育局指導主事や本学教員による講話に加え、本学4回生による「先輩からのエール」、高校生と大学生のグループ交流という内容で実施されました。高校生からは大変好評であったことはもちろん、本学の学生からも「改めて自分も教員になりたいと強く思った」「将来、同僚になるかもと、ワクワクした気持ちをもって話すことができた」「自分にとってもいい経験になり、参加して良かった」等の感想が寄せられ、大学生にとっても教職を志望する思いを強くするよい機会となったようです。



今後もセンターでは教員養成・研修の支援を行っていきます



センター教員だより

本コーナーでは、教職キャリア高度化センター所属の教職員からのコラムを掲載します。今回の投稿者は大久保紀一郎講師です。

4月に京都教育大学に着任した大久保です。私は小学校教諭として、教育現場で15年ほど勤めていました。そこで、メディア教育や情報活用能力の育成、学習者主体の授業づくりなどの研究に取り組みました。昨今、教育現場の厳しい労働環境が取り沙汰されています。私が働き始めた頃から多忙化については言われていましたし、なかなか解消されていない課題の1つです。そんな中でも、仕事に加えて研究をするという選択をしました。それは、単純に自分が楽しい、やってみたいと思えることが見つかったからです。

私は大学の学部の卒論から修士論文、博士論文と一貫してマンガを題材にして研究に取り組みました（マンガで研究なんてできるの？と思う方もいらっしゃるかもしれませんが…）。マンガ以外の研究もしますが、マンガを題材にした研究も継続しています。自分が好きなもの、興味があるものについて突き詰めていくのが、楽しく学ぶ一番の方法だと思います。

京都教育大学に着任して、授業を担当し、学生の皆さんが真面目に学修に取り組んだり、課題に対して追究したりする姿を見て、自分の学生時代を反省する日々です。そんな皆さんですので、すでに自分の軸となるものをもっていると思います。ぜひ、大学生活の中で自分の軸となることをとことん突き詰め、社会に出てからもそれを大切にして、取り組み続けていって欲しいと思います。そういった軸となるものがあれば、社会に出てからも学び続け、成長し続けていけます。そして教師としてのキャリアをより豊かなものにしていけるとと思います。

やりたいことが見つからない、勉強してみたいことはあるけど進め方が分からない、教育実践研究に興味があるなど、何かあればいつでも話をしに来てください。一緒に考えていきたいと思っています。

所属教員

機構長	榊原 禎宏
センター長	原田 信一
センター次長	市田 克利
	樋口 とみ子
専任教員	中垣 ますみ
	吉川 孝
	山下 和美
	梶山 直美
	米澤 武史
	大久保紀一郎

兼任教員	小山 宏之
	相澤 雅文

連絡先

ボランティアオフィス	075-644-8336
(月～水・金 10:30～13:30、木 10:30～14:30)	
スポーツ指導者養成オフィス	075-644-8143
(月～金 10:00～13:00、14:00～15:00)	
事務担当	075-644-8846/8793
(学術研究支援課研究支援グループ)	

